

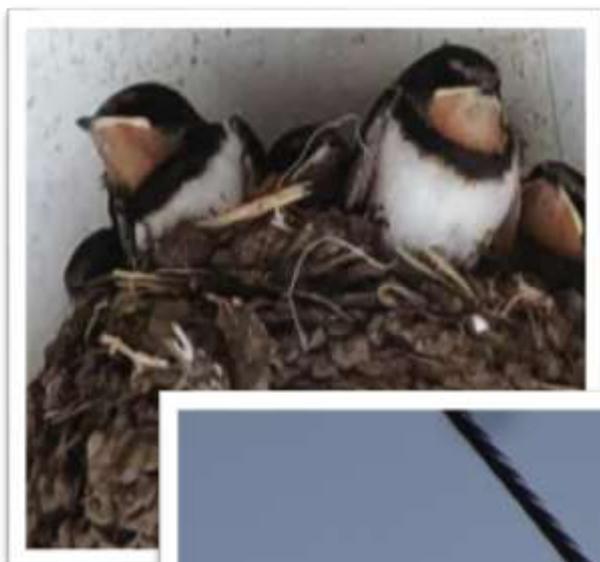
2022年 市民自然環境調査

# みぢかな季節かんじ隊

## 調査結果報告書（ツバメ）

筑井町

大胡町



富士見町原之郷

### 目次

- |         |            |
|---------|------------|
| 1 調査の目的 | 5 調査地点     |
| 2 調査の内容 | 6 参加者の声・写真 |
| 3 調査の結果 | 7 参考資料     |
| 4 調査データ | 8 事務局より    |

令和4年10月  
前橋市 環境部 環境森林課

## 1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、平成16年から、次世代を担う子ども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にツバメの調査を実施しました。

## 2 調査の内容

調査の対象は、対象地域が市内各所にあること、私たちが身近な自然として感じられることを考慮し、「ツバメ（ツバメ・イワツバメ）」としました。

### (1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集しました。（調査に参加した方を「隊員」といいます）
- ②隊員は、調査する場所を決め、期間内に調査を行いました。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出いただきました。

### (2) 調査の概要

テーマ	指標生物	調査内容	調査期間
ツバメの調査	ツバメ、イワツバメ	初見日、抱卵確認日、 巣立ち	3月14日（月）～8月26日（金）

## 3 調査の結果

### ツバメ

- ・調査隊員数： 18名
- ・調査地点数： 33地点
- ・確認種類(件数)：ツバメ（28件）、イワツバメ（5件）
- ・調査隊員の中で最も早い初見日の観測データ：3月11日



### 〈参考〉みちかな季節かんじ隊調査と前橋地方气象台で確認されたツバメの初認日

観測	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
みちかな季節 ※1	3月21日	3月26日	3月26日	3月23日	3月25日	3月14日	3月19日	3月11日
前橋地方气象台 ※2	4月10日	4月13日	4月17日	4月10日	4月3日	3月26日	-	-

※1 前橋市市内における初見日を掲載

※2 気象庁生物季節観測は令和2年度末で廃止のため、令和3年度以降は未記載

### 〈参考〉令和4年日本野鳥の会群馬のツバメ初認情報 ※3

観測	市内	市外
ツバメ	3月5日（上泉町）	3月12日（伊勢崎市）
イワツバメ	3月25日（田口町）	3月13日（伊勢崎市）

※3 日本野鳥の会群馬HPより抜粋

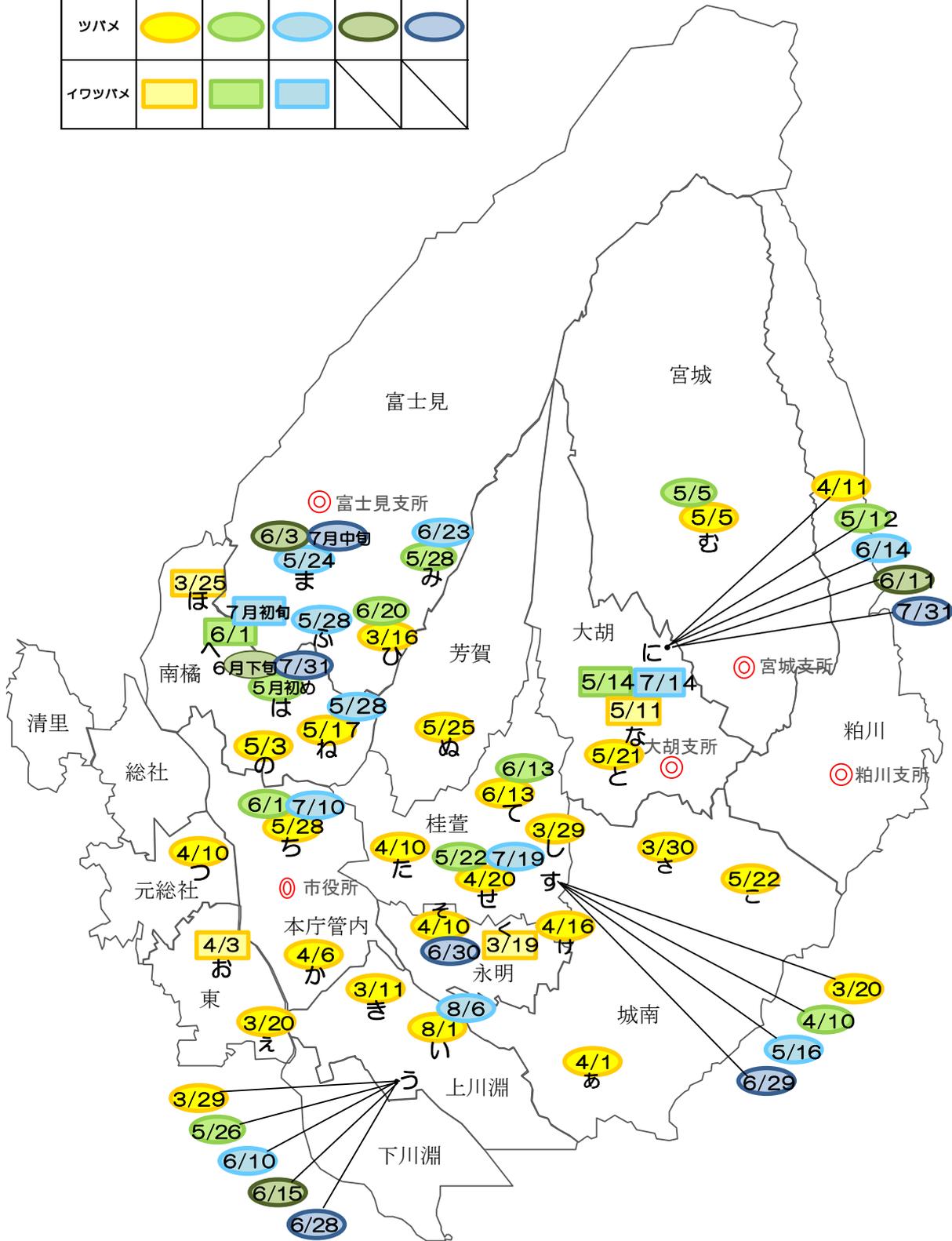
## 4 調査データ

調査結果集計表												
番号			調査場所				ツバメの種類	観察日				
1	3	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
No.	隊員番号	地点番号	町名	名称 (地点名)	建物の種類	(その他)	ツバメの種類	初見日	1回目 抱卵確認日	1回目 巣立ち	2回目 抱卵確認日	2回目 巣立ち
1	9	あ	筑井町	河川敷	その他	河川	ツバメ	4月1日				
2	6	い	朝倉町	保育園	学校・教育施設		ツバメ	8月1日		8月6日		
3	16	う	宮地町	民家	戸建て住宅		ツバメ	3月29日	5月26日	6月10日	6月15日	6月28日
4	12	え	小相木町		集合住宅		ツバメ	3月20日				
5	3	お	箱田町	東公園上空	学校・公共施設		イワツバメ	4月3日				
6	14	か	天川原町二丁目	中華料理店前の電柱	戸建て商店		ツバメ	4月6日				
7	1	き	朝倉町	自宅玄関	戸建て住宅		ツバメ	3月11日				
8	6	く	駒形・下増田町	新須永橋南北約100m(広瀬川)	その他	河川	イワツバメ	3月19日				
9	6	け	駒形町	駒形こども園西側グラウンド	その他	グラウンド	ツバメ	4月16日				
10	6	こ	下増田町	自宅	戸建て住宅		ツバメ	5月22日				
11	6	さ	下増田町	自宅上空	戸建て住宅		ツバメ	3月30日				
12	2	し	江木町	江木新沼	その他	沼	ツバメ	3月29日				
13	7	す	上泉町	新田塚沼、亀泉接骨院	戸建て商店		ツバメ	3月20日	4月10日	5月16日		6月29日
14	15	せ	上泉町		戸建て商店		ツバメ	4月20日	5月22日	7月19日		
15	5	そ	女屋町				ツバメ	4月10日				6月30日
16	6	た	上泉町	桃木川	その他	河川	ツバメ	4月10日				
17	8	ち	本町	自宅	戸建て住宅		ツバメ	5月28日	6月1日	7月10日		
18	17	つ	元総社町	自宅、元総社南小学校辺り	戸建て住宅		ツバメ	4月10日				
19	6	て	荻窪町	道の駅赤城の恵み農畜産物直売所	戸建て商店	売店(ツバメ)	ツバメ	6月13日	6月13日			
20	4	と	大胡町	上毛電気鉄道 車庫近くの電線	倉庫・車庫		ツバメ	5月21日				
21	11	な	大胡町	自宅	戸建て住宅		イワツバメ	5月11日	5月14日	7月14日		
22	13	に	堀越町	自宅2回のベランダ	戸建て住宅		ツバメ	4月11日	5月12日	6月14日	6月11日	7月31日
23	10	ぬ	鳥取町	自宅付近	戸建て住宅		ツバメ	5月25日				
24	6	ね	荒牧町	桃木川沿い	戸建て住宅		ツバメ	5月17日		5月28日		
25	6	の	荒牧町	群馬県青少年会館	学校・公共施設		ツバメ	5月3日				
26	18	は	川端町	民家	戸建て住宅		ツバメ		5月初め		6月下旬	7月31日
27	18	ひ	富士見町原之郷	自宅	戸建て住宅		ツバメ	3月16日	6月20日			
28	18	ふ	富士見町原之郷	民家	戸建て住宅		ツバメ			5月28日		
29	18	へ	関根町	細ヶ沢川の橋	その他	橋	イワツバメ		6月1日	7月初旬		
30	18	ほ	田口町	広瀬川側道の橋	その他	橋	イワツバメ	3月25日				
31	18	ま	富士見町原之郷	民家	その他	鉄筋の作業場	ツバメ			5月24日 ヒナ、カラスに襲われる	6月3日	7月中旬
32	18	み	富士見町原之郷	個人病院	その他	個人病院	ツバメ		5月28日	6月23日		
33	6	む	柏倉町	ぐんまフラワーパーク	学校・公共施設		ツバメ	5月5日	5月5日			

# 5 調査地点

【凡例】

	初見日	1回目 抱卵 確認日	1回目 巣立ち	2回目 抱卵 確認日	2回目 巣立ち
ツバメ	●	●	●	●	●
イワツバメ	■	■	■	△	△



## 6 参加者の声と写真（一部抜粋）

・3月25日に2羽飛んでいるのを確認。4月9日に20羽ほどの集団が上空を飛んでいた。その後確認はしていないが、今年も繁殖したと思われる。この場所は天敵に襲われにくい構造の橋のせいか、昔から使われているようだ。（隊員番号18）

・初見日はすでにヒナが5～6羽。親ツバメからエサをもらったり、羽を広げたり、動きも活発になってきました。猛暑日が続く日本、前橋市でよく子育て達成。お疲れ様。巣立ちもあと数日で南方へ無事に飛び立っていけることを祈りたい。（隊員番号3）



ま 富士見町原之郷

鉄筋の広い作業場の鉄骨に毎年のように巣作りをしている。カラスも出入りできるので、いつもカラスに襲われて繁殖できなかったが、去年は無事5羽のヒナが育った。（隊員番号18）



・桃木川をサイクリングする中でツバメの調査に試みました。下増田町より上泉町まで14橋にかけて川辺二か所で10数羽のツバメ・イワツバメが飛び舞う姿を発見できてほっとしました。しかし住巢については、特にイワツバメにいたっては橋下では見られませんでした。どこに住巢があるのか知りたかった。（隊員番号6）



み 富士見町原之郷

今年は初めて古い巣を二回くらい補強するだけだったので、3日目には巣ごもりをしました。抱卵の13日目、巣の半分を壊され、カラスにやれられたと思い、銀色や赤色の蛇腹を吊るし、下には猫対策にトゲトゲの物を置きました。すぐに親鳥は巣を補強し始め、私たちの心配をよそに、なんと今年も5羽の巣立ちを見せてもらいました。

巣立ちして4日目の夕方、私の家の子ツバメと他の家族のツバメも一緒に20分くらい庭の木にとまったり、庭中を飛び回って別れの挨拶に来てくれたのです。本当に可愛いツバメです。無事に本土に戻ってと手を合わせました。（隊員番号11）



な 大胡町

・2014年夏に上武道路にかかる橋が完成し、2015年春から橋桁でイワツバメの営巣が見られるようになった。その後、毎年繁殖が見られたが、2018年をピークに飛来数が減少し、去年は数羽の姿は見られたものの、繁殖は確認できなかった。今年は巣を20日以上かけてリフォームしている様子が確認できた。7月9日に観察したところ、ほとんど巣立ったようで、橋の近辺を飛び回る姿が見られた。(隊員番号18)

二回目はなかなかヒナの姿が確認できず、孵化しないのかと思っていましたが、一か月近くたってヒナが見えました。巣立つ前、家の前の電線にツバメたちが10羽くらい集まっていたので、印象的でした。できれば日本を離れる前にどこで過ごすのか、越冬地はどこなのかなど、前橋生まれのツバメたちのその後のことを知りたいと思っています。(隊員番号13)



に 堀越町

・私の住んでいる地区では、昨年に引き続き営巣の確認ができませんでした。そこでツバメは飛んでいるので、どこかに巣があるはずだと、他地区に働きかけてみたものの確認できませんでした。そんな中、調査票記載の場所で営巣が確認されました。嬉しかったです。しかし写真を撮ろうと巣に近づくと、親鳥が威嚇してきて写真は撮れませんでした。(隊員番号16)



ひ 富士見町原之郷



い 朝倉町

開いていた窓から家の中に入ってきたのでびっくり。  
(隊員番号18)



・二回目の抱卵日、巣立ちについて、上泉接骨院の巣作りについて確認が取れませんでした。巣を作ったのですが自ら寄り付かなくなった様子です。したがって二回目について「あいのやまの湯」温泉の湯船の上の所で確認がとれました。温泉施設ですので自由に出入りできませんでしたが巣立ちに立ち合いができました。(隊員番号7)



あ 筑井町

桃木川のサイクリングロード周辺にツバメが飛び交い、見られるようになりました。昨夜の雨で濡れた草をついばんでいるのかと思いきや、枯草をくわえて飛び立ちました。巣作りは早くも始まっているのでしょうか。(隊員番号9)



・毎年の沼上を飛ぶツバメを見つけるのはなかなか難しいもので、何度も足を運んだが、今年は諦めてしまいました。そんなある曇りの空の日、散歩の途中で近くの新沼の上を2～3羽のツバメが飛びまわっていました。後日、桜も散った毎年の沼で3～4羽飛び回っている姿を見つけ、やっぱり来てくれた！とホッとしました。(隊員番号2)



自撮り棒で巣の中を撮影。  
卵を3個確認。  
(隊員番号18)



ひ 富士見町原之郷



な 大胡町

・5月10日頃から自宅の玄関先に土を運び、巣を作り始めたが、なかなか完成せず、6月20日頃からようやく抱卵開始。ところが7月10日過ぎても孵化する様子がないので、7月12日親鳥がいないときに自撮り棒で巣の中を撮影したところ、卵が3個写っていた。その後も抱卵を続けているようだったが、結局ヒナを確認することなく、8月1日親は巣を離れた。巣の中を調べたが、卵はなく、素材として敷いていたと思われる鳥の羽が巣からはみ出していた。卵が巣の中に落ちているのは確認しておらず、ヘビがやってくる場所でもないので、何が起きたのかは不明。別のツバメが時々やってくることもあり、またスズメが巣のそばにとまっていることもあったので、何か関係しているのかもしれない。  
(隊員番号18)

## 7 参考資料

### ツバメの特徴

ツバメは、春の訪れとともに日本にやってくる夏鳥です。巣作りも子育ても雌雄が協力して行います。夏の終わりの南の国への渡去準備のため群れになります。

### ツバメが好む住環境

ツバメのえさとなる虫がいる田んぼや川等水辺が近くにある場所



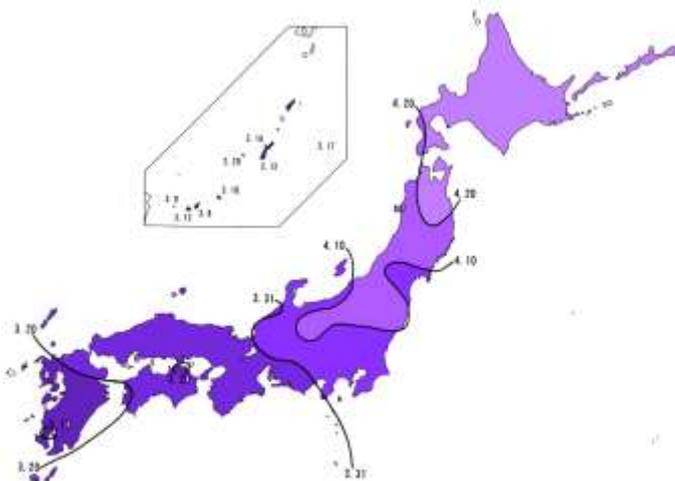
### ツバメ・イワツバメの違い

	ツバメ	イワツバメ
見分け方	<p>額とのどは赤褐色</p> <p>17 cm</p> <p>尾は細長い</p>	<p>14~15 cm</p> <p>腰は白色</p> <p>尾は短い</p>
巣作り場所	商店や住宅の軒下に巣を作る	山や海岸の崖、ビルや橋などに集団で巣を作る
分布	北海道から九州、種子島 (北海道では道南にほぼ限られる)	北海道から九州 (西日本では局地的で少ない)

イラスト：担当者

### ツバメの初見日の等期日線図

(1981~2010年 平年値)



ツバメの初見は、3月上旬から九州地方南部で始まります。3月20日に九州地方、四国地方に達し、3月31日に中国地方、近畿地方、北陸地方、中部地方を結ぶ地域、4月10日に東海地方、関東甲信地方、東北地方南部を結ぶ地域、その後、東北地方北部を北上し4月下旬に北海道地方に達します。

〈気象庁HP「生物季節観測」引用〉

## 8 事務局より

今年は、18名の隊員の皆様から33地点のご報告をいただきました。隊員の皆様には初見日から巣立ちまで、長期にわたりご協力をいただき誠にありがとうございました。

近年、ツバメを見かける機会が減ったと言われていますが、隊員の方々の報告から、前橋市で育つ元気なツバメたちの様子を伺って喜ばしい気持ちになりました。

前橋市を飛び立ったツバメの無事を祈り、来年もまたツバメたちが帰って来られるように、ツバメと共存できる環境づくりをしていきましょう。

今後も「みちかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

# 「前橋市環境都市宣言」

## 前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しみ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

## 前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として4つ目の宣言文となります。